

第8回 東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム ～東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開～

会 場：仙台市情報・産業プラザ 多目的ホール（アエルビル 5 階）
参 加：1,000 円（資料代として）

平成 29 年 1 月 30 日(月) 13:00 ~ 17:00



写真提供：国土交通省東北地方整備局

プログラム

講演 1 道路メンテナンス会議の取組み状況

山口 満 氏（国土交通省 東北地方整備局 道路部 道路保全企画官）

講演 2 「青い森の橋ネットワーク」の活動概要

阿波 稔 氏（八戸工業大学 工学部 土木建築工学科 教授）（青い森の橋ネットワーク 幹事長）

講演 3 産官学による岩手県内のコンクリート構造物の品質・耐久性確保の取組み

小山田哲也 氏（岩手大学 理工学部 システム創成工学科 准教授）
(岩手県のコンクリート構造物の品質確保および維持管理について考える会 幹事)

講演 4 秋田県内のコンクリートの製造・維持管理技術の共有・発展の方向性に関する投げかけについて

徳重 英信 氏（秋田大学 大学院理工学研究科 システムデザイン工学専攻 土木環境工学コース 教授）

講演 5 ふくしま発 市町村橋梁の長寿命化を目指して～小さな歯車を回すために～

岩城 一郎 氏（日本大学 工学部 土木工学科 教授）（ふくしまインフラ長寿命化研究会 代表）

講演 6 東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの概要

久田 真 氏（東北大学大学院 工学研究科 教授）（東北大学インフラ・マネジメント研究センター長）

特別講演 SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」と東北地方での展開への期待

藤野 陽三 氏（内閣府 CSTI-SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」プログラムディレクター）
(横浜国立大学 先端科学高等研究院 上席特別教授)

主催：公益社団法人土木学会東北支部

共催：東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター 国土交通省東北地方整備局 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
仙台市 一般社団法人東北地域づくり協会

後援：一般社団法人日本建設業連合会東北支部 東北建設業協会連合会 公益社団法人日本技術士会東北本部 公益社団法人地盤工学会東北支部
公益社団法人日本コンクリート工学会東北支部 一般社団法人建設コンサルタント協会東北支部 一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部
一般社団法人日本橋梁建設協会東北事務所 一般社団法人東北測量設計協会 一般社団法人日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会
公益社団法人プレストレストコンクリート工学会 東北電力株式会社 東日本高速道路株式会社東北支社 東日本旅客鉄道株式会社仙台支社

本シンポジウムは、土木学会 CPD プログラム認定を受けています

（認定番号：JSCE16-1226 単位数：3.7 単位）

※ 聴講をご希望の方は、下記問合わせ先までご連絡ください。

問合わせ先 | 公益社団法人土木学会東北支部

〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-5-1 オーク仙台ビル 3 階
電話：022-222-8509 FAX：022-263-8363 E-mail：jsce-th@tohokushibu.jp
ホームページアドレス：<http://www.jsce.or.jp/branch/tohoku/>



趣 旨 : 2012年12月に発生した笹子トンネルの崩落事故以来、橋梁、道路施設全般のみならず、インフラ全般についての維持管理の重要性が急激に増加した。これを受け、2013年は「メンテナンス元年」と位置付けられることとなり、内閣が主導する科学技術イノベーション総合戦略の中でも、インフラの老朽化への対応は、我が国の重要なミッションのひとつとして明示された。

特に、2014年に提言された「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言（最後の警告）」以来、インフラの維持管理に関しては、産官学の技術や知識を総動員した「総力戦」として取り組むことが強く望まれており、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）や革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）といった国家プロジェクトを通じて、インフラ維持管理の効率化・高度化に資する様々な技術が開発され、社会に実装されつつある。

このような状況を鑑みて、今回のシンポジウムでは、SIP「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」のプログラムディレクターである藤野陽三先生による特別講演のほか、東北地方の各県で実施されているインフラ維持管理の産官学連携の取組み状況を紹介して頂くこととした。また、産官学の連携による東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの概要を紹介するとともに、当日、プラットフォームをキックオフする予定である。

参 加 : 1,000円（資料代として）

定 員 : 450名（定員に達し次第、締切らせて頂きます）

申込先 : 申込書に必要事項を明記のうえ、以下の連絡先（faxまたはe-mail）まで、お申込みください。

公益社団法人土木学会東北支部 fax:022-263-8363 e-mail : jsce-appli@tohokushibu.jp

「第8回 東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム」申込書

連絡先	連絡担当者	(ふりがな)
	機関名	
	住所	
	電話番号	
	e-mail	
	申込内容	参加者申込者合計(　　名)
配布資料支払方法	<input type="checkbox"/> 当日支払い <input type="checkbox"/> 後納（請求書希望） ※後納希望の方は請求書の宛名をご記入願います。 ()	

申込者氏名 ①	(ふりがな)	会員種別 (いずれかに し点を記入)	<input type="checkbox"/> 土木学会会員 (個人・法人・賛助・学生) <input type="checkbox"/> 非会員
申込者氏名 ②	(ふりがな)	会員種別 (いずれかに し点を記入)	<input type="checkbox"/> 土木学会会員 (個人・法人・賛助・学生) <input type="checkbox"/> 非会員
申込者氏名 ③	(ふりがな)	会員種別 (いずれかに し点を記入)	<input type="checkbox"/> 土木学会会員 (個人・法人・賛助・学生) <input type="checkbox"/> 非会員
申込者氏名 ④	(ふりがな)	会員種別 (いずれかに し点を記入)	<input type="checkbox"/> 土木学会会員 (個人・法人・賛助・学生) <input type="checkbox"/> 非会員
申込者氏名 ⑤	(ふりがな)	会員種別 (いずれかに し点を記入)	<input type="checkbox"/> 土木学会会員 (個人・法人・賛助・学生) <input type="checkbox"/> 非会員

* 1 ご参加お申し込みいただきました方は、参加券をお送り致します。

* 2 申し込みが複数でない場合でも連絡先の欄もご記入願います。

注) ご記入いただきました情報は本目的以外には使用いたしません。